

# 日野町教育大綱

(平成 27 年度～平成 28 年度)

まちを愛し、豊かな心に灯をともし  
生きがいのあるまちづくり

平成 27 年 7 月

日 野 町

はじめに

少子高齢化の進行、生活の多様化、情報社会の急激な発達等に伴って、家庭生活や地域を支えてきた集落活動の衰退など、学校教育を取り巻く環境にもさまざまな変化が生じています。

現在、国内外を問わず、さまざまな事件、犯罪が多発し、大きな社会問題となっています。この背景には、人としての心が失われつつあることも考えられます。恵まれた自然環境の中で、人や地域を愛する豊かな心を育て、人と人の関わりを深めていくことが、失われつつある人間性を取り戻し、明るい社会を築く基礎となると思われまます。

そこで、「日野町まちづくりビジョン『きらりと光るまち』」に掲げる教育政策を、より具体的な方向性や目標のもとで推進できるように「日野町教育大綱」を策定しました。

この「大綱」にもとづき、生まれてから中学校を卒業するまでの15年間を見通した教育を、家庭・保育所・学校・地域が連携して進め、「心豊かにたくましく羽ばたく子どもたちの育成」をめざしていきます。また、本町の特徴を生かした教育、人づくりを進めるとともに、さまざまな活動を通し、喜びや生きがいを見出すことができる環境づくりや人権を尊重するまちづくりを推進していきます。

平成27年7月6日

日野町長 景山 享弘

## 1. 地域に根ざした生きがいづくり

### ～生涯学習の推進による自己実現と地域の自立促進～

#### ○社会全体での学習環境整備

地域社会における人々のつながりや支え合いを大切にし、あらゆる人々の協働により課題解決を図っていく。また、家庭教育は、子どもの自立に向け「生きる力」を身につけていくのに大きな役割を担っていることから、その充実を図る。

#### ○生涯学習の推進

社会を生き抜く上で必要な自立・協働・創造に向けた力を、生涯を通じて身に付けられるようにする。このため、町民の直面する課題や社会の多様な課題に対応した質の高い学習機会等を充実するとともに、学習成果が広く社会で活用されるようにする。

#### ○人権・同和教育の推進

部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消及び人権尊重の社会づくりに向け、人権意識の高揚、他者との連帯意識が高められるようにする。また、少子高齢化、人口減少による地域活力低下という課題を、『人権と福祉』の視点からとらえ、安心安全・希望の地域づくりに向けた合意形成を進める。また、家庭、地域、職場等での性による固定的役割分担を是正し、性差に関わらず生き生きと暮らせる環境づくりに努める。

## 2. 次代を担う人づくり

### ～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進～

#### ○人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進

あらゆる生活場面で、生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する心を育む。

## ○豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進

### （自他を大切にする心）

子ども達の豊かな心の育成、規範意識の向上に向け、道德教育の充実を図り、自分を大切にするとともに、他の人の大切さを認めて行動しようとする心と態度を養う。

### （日野町に誇りを持ち、日野町を愛する心）

生まれ育った日野町の歴史や文化について学ぶとともに、探究的な学習、調査研究等を通して、日野町への誇りや日野町を愛する心を育む。

### （主体的に考え、行動し、他者と協働して解決する力）

今後の地域、社会のあり方について主体的に考え、行動しようとする実践力を育てる。また、様々な社会問題を、自ら発見し、自ら学び、他者と協働して解決できる力の育成を図る。

### （情報社会を主体的に生きる力）

人と人とのコミュニケーションを大切にした、情報モラルの育成を図るとともに、小学校からICT活用能力や英語活用能力、多様な価値観に対応できる力を養う。

## ○保小中一貫教育の推進

### （自ら学ぶ力）

基礎的・基本的な知識・技能を習得し、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けるとともに、意欲を持って主体的に学習に取り組む子どもを育てる。

### （ともに生きる力）

豊かな情操や、他者、社会、自然・環境との関わり、自らを律しつつ共に生きる力、主体的に判断し適切に行動する力などを持つ子どもを育てる。

### （たくましく生きる力）

適度な遊びや運動、バランスの良い食事、十分な睡眠等により、生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を養う。

### **(小中一貫カリキュラムの検討、実施)**

現行の「6・3」制の教育課程を編成しつつ、9年間を「4・3・2」に区分する等、子ども達の発達段階を重視し、学習の系統性や連続性が保障される小中一貫カリキュラムを検討し、実施する。

#### **○保育士、教師の資質の向上**

「遊びきる子ども」を育む専門的力量、「確かな学力」を保障する授業力等の向上を図る。

### **3. 学びのセーフティネット**

#### **～教育環境の充実と学習機会の確保～**

#### **○教育環境の充実**

子どもが安心・安全な環境において学習できるようにするため、学校等の施設の防災機能強化等の教育環境整備を図るとともに、自らの安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育を推進するなど、学校等における子ども達の安全を確保する。

#### **○人口減少に対応した学校教育の充実**

子ども達の数が減少する中で、小学校の統合、小中一貫校の設置を含め、小学校・中学校のあり方はどうあるべきかを町民とともに考え、将来にわたって子ども達の学びを保障できる教育制度及び教育環境を検討し、整備をすすめる。あわせて、近隣町の小中学校との連携を図る。

#### **○全ての者への学習機会の確保**

日野町公民館を拠点とした生涯学習の推進を図るとともに、様々な困難や課題を抱え支援を必要とする者に対して、生涯を通じて多様な学習機会を確保できるように努める。また、鳥取県立日野高等学校が魅力ある高校となるよう、近隣町と連携した支援の充実を図る。

#### 4. 心身ともに健康で豊かな地域づくり

～生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境整備～

##### ○スポーツ・レクリエーションの振興

保育所、学校、スポーツ団体等と連携し、スポーツに親しめる環境を整えるとともに、体力づくり、健康づくりの増進、地域間交流の促進を図る。また、ソフトテニスやカヌー等、日野町の特色あるスポーツ振興に努める。

##### ○ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実

保育所においては、楽しく体を動かす機会を確保し、幼児期の運動の習慣化を図る。また、学校においては、体育学習の充実を図るとともに、運動が日常的に子どもの中に定着し、習慣化されるように努める。さらに、生涯スポーツの観点から、手軽に日常生活で取り組める運動やスポーツを奨励し、運動習慣づくりを推進する。

#### 5. 地域に根ざした文化の継承と創造

～芸術文化の振興と文化財の保護～

##### ○文化活動の推進

文化センターや公民館を核として、芸術文化活動の推進に努めるとともに、地域文化の再発見、地域間交流の促進を図る。

##### ○読書活動の推進

日野町図書館を中心とした各図書館との連携の中で、図書の実用と読書活動の推進を図る。また、情報提供や展示等の場を設置し、住民が集う場としての活用を推進する。

##### ○文化財の保存、活用、伝承

遺跡やまち並み、伝統芸能などの歴史を地域資源として積極的に生かす取組を推進する。また、文化、伝統、芸術に触れ、豊かな情操を養うとともに、郷土学習を通して郷土への理解を深めることで、日野町に暮らすことに誇りを感じられるようにする。